

若草プロジェクト 設立記念 シンポジウム

2016年10月22日 土

午後1時半開場・2時開会・5時閉会

会場：青山学院大学青山キャンパス9号館3階930教室

参加費：2,000円・学生1,000円

*資料には、「最下層女子校生」(橘ジュン著小学館刊)1冊を含みます

*定員 300名 申し込みは裏面へ

挨拶



恵まれているはずの日本で、
「生き地獄を生き、統計上はなかったものにされている」
(最下層女子校生より) 少女たちがいます。本シンポジウムは、
インタビュアーに江川紹子さんをお迎えし、
沖田×華さん、bondprojectのスタッフとの対話を通じて、
少女たちの実態を知り、「大人」にできることは何かを考えます。

瀬戸内寂聴

呼びかけ人代表 (ビデオメッセージ)

生きづらさを語る

沖田×華 (漫画家)

NPO 法人 bondproject スタッフ

インタビュアー 江川紹子 (ジャーナリスト)

主催 一般社団法人 若草プロジェクト

後援(申請中) 厚生労働省、法務省 日本更生保護女性連盟 特定 NPO 法人日本 BBS 連盟
(一社) 社会的包摂サポートセンター

協賛(株) 小学館集英社プロダクション 他

申込は HP から、または裏面に記入して fax してください。



LINE 相談をはじめました

時間帯

月曜日と土曜日 13時から17時

水曜日 17時から19時

QRコード



IDで検索

@wakakusa

「女の子」たちの今を知り「信頼される大人になる」ための連続講座

AV 被害を考えよう part2

現在の日本社会で、若年女性たちが抱える課題は「大人」たちには未知の分野とも言えるほど、多様になっています。まず、大人たちが「新しい課題」の数々をインプットし、彼女たちは何に悩み、何に立ち竦まざえないのかを学びましょう。

日本中の「心ある大人たち」が彼女たちに「信用される」大人になり、日本中でネットワークすることができて初めて、若年女性のためのセーフティネットができるのです。ぜひ、あなたもネットワークの一員になってください。連続講座第2回は、AV被害について考えます。少なくない若年女性たちが、詐欺まがいの勧誘を受けてAV出演を強要されている実態があります。被害実態と支援のノウハウを学びます。

連続講座 第2回

テーマ「AV被害について考える」

日時：2016年12月11日(日)10時～18時

会場：曼陀羅山 寂庵

京都府京都市右京区嵯峨鳥居本仏餉田町7-1

講師：金尻カズナ氏

(ポルノ被害と性暴力を考える会相談支援員)

★事例検討のグループワークあり

☆ホームページで受け付けます。 ☆参加費5000円(当日徴収)

☆定員(50人)に達し次第受付を終了します。

連続講座のご案内

以下の講座を予定しております。

第3回 「ハラスメント」

2017年1月予定

第4回 「依存症とは」

2017年4月予定

若草プロジェクト設立記念シンポジウム・連続講座申込フォーム

下記の項目から参加希望を○で囲んでください。定員に達しお断りする場合はご連絡いたします。

■シンポジウム(締切10月20日)

■連続講座(締切12月8日)

氏名	所属	電話番号
住所	e-mail	
参加の動機を 簡単にお書きください		
この講座をどこで 知りましたか?		

※本シンポジウム・連続講座以外

にはいただいた個人情報は利用しません

FAX 050-3736-5685

お問い合わせ wakakusa@wakakusa.jp.net

申し込み

<http://wakakusa.jp.net/index.html>

(メールフォームからお申し込みできます)



若草プロジェクトは「若年女性たちをサポートする大人たち」の養成を活動の柱にしています。

若草プロジェクトは、貧困、虐待、ネグレクト、DV、いじめ、性的搾取、薬物依存、育児ノイローゼ等々社会の抱える様々な問題に翻弄され、SOSを心に抱えた少女や若い女性たちと、彼女たちを支援する人たち(支援者)とをつなげ、支援を確実に届けることを目的に設立されました。

シンポジウム、研修等を通じて彼女たちを取り巻く実態を社会に伝え、支援者のネットワークを作っていきます。

若草プロジェクトの3つの事業

- つなぐーワンストップ型相談窓口を設営し必要な支援につなぐ
- 広めるー支援者の存在を少女や若い女性たちに、彼女たちの現状を社会に広める
- まなぶー支援者の養成・研修

呼びかけ人代表 瀬戸内寂聴/村木厚子

